

令和 5 年度

事業報告書

決算報告書

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人 みやま市社会福祉協議会

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人 みやま市社会福祉協議会

I. 全体概要

住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らせる社会の実現は、すべての皆さんが願っていることです。

みやま市社会福祉協議会では「誰もが健康で安心して暮らせる福祉のまちづくり」を基本理念として、行政や校区社会福祉協議会をはじめとした福祉関係機関・団体と連携・協同し、住民の参画を得ながら事業推進に取り組んでまいりました。

少子高齢化、核家族化が進み生活領域における支え合いの基盤が弱まる中、社会的孤立や生活困窮など、1つの組織や方法だけでは解決できない福祉課題が身近に発生しています。こうした課題解決に対応するため、社会福祉協議会にはより一層の連携体制づくり、機能強化が求められており、令和5年度は、市内それぞれの社会福祉法人が持つ専門性を活かし、連携することにより社会福祉の増進を図ることを目的とした社会福祉法人連絡会を設立し、また既存の制度では解決できない生活課題に対応するための「ふくおかライフレスキュー事業」への参加を行いました。

以下、令和5年度の事業について報告いたします。

II. 各分野の事業

1. 法人運営事業

(1) 会議等の開催

- 令和5年 第3回理事会 令和5年6月7日
 - ・会長及び常務理事の職務執行状況報告について
 - ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会嘱託職員・臨時職員・パートタイマー就業規則の一部改正について
 - ・令和4年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会事業報告について
 - ・令和4年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会一般会計決算（計算書類及び財産目録）の報告について
 - ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会理事及び監事の推薦について
 - ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会評議員の推薦について
 - ・令和5年第2回評議員選任・解任委員会の招集について
 - ・令和5年第3回評議員会の招集について

- 令和5年 第4回理事会 令和5年6月26日
 - ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会会長、副会長及び常務理事の選定について

- 令和5年 第5回理事会 令和5年8月30日
 - ・令和5年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算（第1号）の報告について
 - ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会会長表彰者の推薦について
 - ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会理事の推薦について

- ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会評議員の推薦について
- ・令和5年第3回評議員会選任・解任委員会の招集について
- ・令和5年第4回評議員会の招集について

○令和6年 第1回理事会

令和6年1月24日

- ・令和5年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算（第2号）について
- ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会事務局職員給与規程の一部改正について
- ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業運営規程の全部改正について
- ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会指定訪問介護事業運営規程の全部改正について
- ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会指定地域密着型通所介護事業運営規程の全部改正について
- ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会みやま市介護予防・日常生活支援総合事業第1号訪問事業（介護予防訪問介護相当サービス）運営規程の全部改正について
- ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会みやま市介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業（介護予防通所介護相当サービス）運営規程の全部改正について
- ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業運営規程の全部改正について
- ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会指定居宅介護事業（重度訪問介護）運営規程の全部改正について
- ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業運営規程の全部改正について

○令和6年 第2回理事会

令和6年3月21日

- ・会長及び常務理事の職務執行状況報告について
- ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会理事及び監事並びに評議員の選出規程の一部改正について
- ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業運営規程の一部改正について
- ・令和6年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会事業計画について
- ・令和6年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会一般会計資金収支予算について
- ・令和6年度第1回評議員会の招集について

① 評議員会の開催

○令和5年 第3回評議員会

令和5年6月26日

- ・令和4年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会事業報告について
- ・令和4年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会一般会計決算（計算書類及び財産目録）の報告について
- ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会理事及び監事の選任について

○令和5年 第4回評議員会

令和5年9月20日

- ・令和5年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算（第1号）について
- ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会理事の選任について

- 令和6年 第1回評議員会 令和6年3月29日
 - ・令和6年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会事業計画について
 - ・令和6年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会一般会計資金収支予算について

② 監査の実施

- ・第1回監査 令和5年5月11日 (決算監査)
- ・第2回監査 令和5年10月26日 (上半期監査)

③ 委員会等の状況

- ・事業計画委員会 令和6年2月21日
- ・企画財政委員会 令和6年2月22日
- ・評議員選任・解任委員会 令和5年6月14日
令和5年9月8日

(2) 社会福祉協議会会員制度による会費

令和5年度社会福祉協議会会員制度による会費として5,085,650円の協力を頂きました。前年度納入実績により市内15校区社会福祉協議会へ会費の85%を活動財源として交付したほか、小地域ふれあいネットワーク、ふれあい・いきいきサロン事業等の財源としました。

・瀬高地区	5,784世帯	2,896,500円 (1世帯500円)
・山川地区	1,266世帯	633,010円 (1世帯500円)
・高田地区	3,110世帯	1,551,140円 (1世帯500円)
・特別会員	1口	5,000円 (1口5,000円)

(3) 共同募金事業

赤い羽根共同募金は、福祉団体の活動を財政面から支えるものです。共同募金会みやま市支会では、住民、企業、区長、民生委員等のみなさまのご協力を得て、合計9,260,421円の募金をいただきました。

- 共同募金会みやま市支会理事会開催 令和5年8月30日

○共同募金会 令和5年度戸別募金実績

地区	瀬高地区	山川地区	高田地区	合計
共同募金額	3,249,280円	738,373円	1,675,770円	5,663,423円
歳末募金額	539,100円	123,400円	286,200円	948,700円

※一般募金・・・戸別・法人・個人・団体・イベント・街頭・職域等

○共同募金配分金事業は、赤い羽根共同募金B枠配分(令和4年度実績に応じた配分)及び歳末たすけあい募金配分(本年度実績に応じた配分)を受け、新入学児童への黄色い帽子贈呈など市社協が行う福祉事業の他、校区社会福祉協議会やふれあい・いきいきサロン・子育てサロン・福祉団体等へ助成を行うなど地域福祉向上のために活用しました。

2. 地域福祉活動計画に基づいた具体的事業内容

(1) みんなで支え合う連携体制づくりを進めます。

① 小地域福祉活動事業

○ふれあいネットワーク

住み慣れた地域で、誰もが支えあいながら、安心して健康でいきいきと元気に暮らすことができる地域社会を作っていくために、人と人とのつながりにより助け合う、ふれあいネットワークの組織づくりと育成支援に取り組みました。

このネットワーク活動では、独居・高齢者世帯を訪問する福祉推進員並びにふれあい活動員による声掛け・見守り・安否確認等の活動を展開しました。

○福祉推進員・ふれあい活動員設置状況

地区	福祉推進員等人数	設置行政区数	前年度比
瀬高地区	福祉推進員 138人	88区/88区	1人増
山川地区	ふれあい活動員 84人	29区/31区	7人減/2区減
高田地区	ふれあい活動員 283人	30区/30区	23人減
合計	505人	147区/149区	

○福祉推進員・ふれあい活動員活動報告・研修等

新たに就任された福祉推進員・ふれあい活動員を対象に、役割説明会を開催しました。

・令和5年5月29日 会場：山川市民センター

参加者 54名 (新任福祉推進員・ふれあい活動員 他校区社協役員、民生委員)

<重点施策>ふれあいネットワーク・見守り活動の推進

■地域ぐるみで見守ることが出来る体制づくりを進めるため、地域に対して具体的な推進スケジュールを示し、校区社協における福祉推進員・ふれあい活動員の役割説明、及び行政区/民生委員設置単位での定期的な情報交換会の開催を推進しました。

○開催実績

- ・校区社協における役割説明会 ……4校区
- ・行政区/民生委員設置単位での役割説明会 ……2地区
- ・行政区/民生委員設置単位での情報交換会 ……18地区

■異常を発見した際には関係機関へ連絡出来るよう、在宅介護サービスにおける送迎・移動時に地域の見守りを行いました。

② ふれあい・いきいきサロン支援事業

小地域を単位とした住民相互のふれあいの場として、誰でも気軽に参加できるふれあい・いきいきサロンの活動支援を行いました。

また、みやま市より「ふれあい・いきいきサロン支援事業」を受託し、市社会福祉協議会が実施する活動補助と合わせた補助金の交付、施設使用料補助、冷暖房費補助等、財政面での支援を行いました。

○ふれあい・いきいきサロン設置状況

101ヶ所（瀬高地区 56サロン 山川地区 16サロン 高田地区 29サロン）

○防犯に関する出前講座派遣調整

- ・消費生活支援センター出前講座 22件
- ・柳川警察署、瀬高警部交番 23件

○サロン活動実績

地区	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
瀬高	開催回数	50	59	65	50	35	63	54	66	53	55	58	55	663
	参加者数	724	756	738	638	370	815	651	828	706	659	735	735	8,355
山川	開催回数	16	15	17	13	15	17	13	13	15	16	13	16	179
	参加者数	177	137	149	119	126	155	113	111	154	186	117	179	1,723
高田	開催回数	29	30	29	28	22	29	29	30	30	29	29	30	344
	参加者数	530	492	483	451	379	480	479	490	512	470	452	487	5,705

○ふれあい・いきいきサロン代表者会議

- ・令和5年9月29日 参加者 95名（80サロン）
事務説明、サロン講座体験（フレイル検診、ヨガ、口腔ケア）
- ・令和6年2月29日 参加者 103名（76サロン）
事務説明、事例報告（サロンを通じた外出、コミュニティバスの利用）

③ 地域ふれあい食堂の活動支援

食事の提供に加え、学習や居場所等の支援機能を併せ持った場づくりや、地域でのふれあいの活性化を図ることを目的に活動されている団体に対し、活動の支援を行いました。

また、安定した食堂運営の継続を支援するため、ルフラン（旧山川南部小学校）の一室に冷蔵庫・冷凍庫を設置した食糧保管スペース「みやま市ライフサポートセンター『wa-kuru』」を確保し、食堂運営者が円滑に利用できるよう利用規約を整備しました。

- ・登録団体数 5団体
- ・延べ参加者数 2,019名

④ 生活困窮者自立支援ネットワーク事業

制度の狭間で対象外となる生活困窮者に対して、必要に応じて食糧や日用品、家電製品を提供・貸出をすることによって、生活困窮者の当面の生活を守るセーフティネットの役割を果たしました。そして、当面の生活を確保した後も、生活困窮者の生活を振り返り課題を整理し、自立を基本とした生活再建を図るための相談援助に繋げました。

また、チラシの配布により、事業の周知や提供可能物品の確保に努めました。加えて、前述の「wa-kuru」に家財道具を保管するスペースを確保することで、即時即応の支援ができる環境づくりを行いました。

- ・登録件数 新規登録件数 0件/延べ登録件数 17件（内就労4件）
- ・物品等寄付受付件数 34件
- ・物品等提供・就労先紹介実績 26件
- ・物品貸出実績 3件

⑤ 当事者の会の支援

○結ぶ会

子どもの発達に悩む親が悩みを共有できる場を設け、孤立せずにより良い子育てができる環境の場づくりの支援を行いました。

⑥ 各種団体助成事業

○みやま市老人クラブ連合会への支援

会員同士の交流を深めるとともに、一人暮らし高齢者世帯・高齢者夫婦等世帯に対し、老人クラブ会員が友愛訪問する「愛の一声運動」を展開している、みやま市老人クラブ連合会への支援を行いました。

○みやま市子ども会活動への支援を行いました。

⑦ 民生委員・児童委員協議会との連携

定例会議への参加などを通し、相互に情報交換を行い、顔の見える関係づくりに努めました。

また、日常的に地域支援や生活支援に関することなどの相談に応じ、連携して地域福祉の増進に取り組むことが出来るよう努めました。

⑧ みやま市生活支援・介護予防体制整備推進協議体への参画

みやま市が設置する「生活支援・介護予防体制整備推進協議体」に参画し、地域課題の解決に向けた連携及び協働による体制整備を推進しました。

⑨ 災害時における様々な機関との連携

災害発生時に、応急対応活動を行う場所の確保及びボランティア活動を円滑に実施するために、みやま市と災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定を締結しており、定期的な情報交換のため関係各署との会議を実施しています。

また一般社団法人 山門青年会議所と相互協力協定の締結を行っており、今後も様々な機関との連携を進めます。

さらに、広域災害に対応するため八女市、柳川市、大牟田市の各社会福祉協議会と協定を結び、相互支援を行う体制を整えました。また、この協定に基づき行動できるよう 4 市社会福祉協議会合同で災害ボランティアセンター設置運営訓練を行いました。

⑩ ふれあい給食サービス

ふれあい給食サービス事業については、事業終了といたしました。

⑪ 社会福祉法人連絡会

みやま市内に所在する社会福祉法人がそれぞれの専門性を活かし連携することにより、地域福祉の向上を図る場づくりとして「みやま市社会福祉法人連絡会」を発足しました。

- ・令和 5 年 8 月 2 日 総会
- ・令和 6 年 2 月 8 日 第 2 回連絡会
- ・加入法人数 16 法人

(2) 福祉のまちづくり活動の拠点づくりを進めます。

① 市社会福祉協議会と校区社会福祉協議会の連携

○校区社会福祉協議会新任役員研修（校区社会福祉協議会新任会長・事務局長）

・令和5年7月19日 会場：あたご苑

（内容）

地域福祉について、社会福祉協議会の使命と役割について、みやま市社会福祉協議会・校区社会福祉協議会について、赤い羽根共同募金について、第3次地域福祉計画・活動計画について

参加者数 5名

○校区社会福祉協議会研修会（校区社会福祉協議会役員・評議員）

・令和5年10月30日 会場：山川市民センター

（内容）第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画について
座談会の活用について・他地域の事例紹介

参加者数 106名

○校区社会福祉協議会連絡会の開催

- | | | |
|------------|--------------|-------|
| ・令和5年6月2日 | 校区社会福祉協議会連絡会 | 正副会長会 |
| ・令和5年6月2日 | 校区社会福祉協議会連絡会 | |
| ・令和5年10月5日 | 校区社会福祉協議会連絡会 | |
| ・令和6年1月12日 | 校区社会福祉協議会連絡会 | 正副会長会 |
| ・令和6年1月30日 | 校区社会福祉協議会連絡会 | |

② 地域座談会開催の推進

地域の現状把握と住民自らが地域を知ることがを目的とした、地域座談会開催を促進しました。

<重点施策>地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗に関する協議の推進

■令和5年度は校区社協と連携し、旧小学校区単位での地域座談会の開催を促進しました。座談会で集まった情報は、今後の地域福祉活動計画の推進及び進捗評価に活用される予定です。

・座談会開催箇所数 …11箇所

③ 子育てサロン活動の支援

地域社会が一体となった子育てを支援する環境をつくるため、子育てサロンの活動支援を目的に、サロン活動費の一部を助成しました。

④ 介護予防普及啓発事業（みやま市受託事業）

介護予防の重要性と実践方法の普及を行うことを目的として、ふれあい・いきいきサロンに講師や看護師の派遣を行いました。また、人材育成を図るため、レクリエーション講座や地域の人材を活かした教室を開催しました。

○派遣実績

講師種別	講演会				合計	相談会	ボランティア養成	
	健康運動指導士	栄養士(調理有)	栄養士(調理無)	その他講師		看護師	講師	地域講師
派遣実績	48	1	10	393	452	298	12	12

⑤ 介護予防事業（生きがい教室）（みやま市受託事業）

高齢者の閉じこもりや認知症を予防することを目的として、健康運動指導士やレクリエーション指導士等による運動プログラムを実施しました。

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1回平均
開催数	6	7	8	7	7	7	7	7	7	7	1	1	72	
参加者数	67	72	76	68	62	72	75	57	67	66	14	18	714	9.9

⑥ つどいの広場事業（みやま市受託事業）

週6日（月～土曜日）乳幼児をもつ親子が気軽に集える場として、つどいの広場を開設しました。また、親子同士の交流や育児相談、ミニ講座、各月におはなし会や誕生会などを実施しました。このほか、子育て講習会を年15回実施し、子育てについての学習や相談の機会を設けました。

○開催実績

・会場：総合市民センター

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
開催数	22	21	24	21	20	22	23	16	21	21	21	23	255	
参加者数	333	255	375	430	352	291	360	244	385	357	383	413	4,178	16.38
参加組数	148	118	166	194	144	130	165	111	168	160	173	182	1,859	7.29

○子育て講習会開催実績（参加者数は、託児・見学者の人数を含む）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1回平均
開催数	1	1	2	1	1	2	2	1	1	1	1	1	15	
参加者数	29	25	49	12	14	46	50	25	8	22	16	24	320	21.3

⑦ 総合保健福祉センター管理運営事業

○高田総合保健福祉センター（あたご苑）

○山川総合保健福祉センター（げんきかん）

・一般利用者利用実績（平日のみ）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
高田 (あたご苑)	302	245	299	237	258	210	257	219	296	184	236	289	3,032
山川 (げんきかん)	297	256	286	294	280	311	331	396	419	281	384	442	3,977

(3) 福祉のまちづくりに関する意識づくりを進めます。

① 出前講座

小中高等学校やふれあい・いきいきサロン等に福祉教育や体験学習を通じて福祉に対する意識づくりに努め、周知を図りました。

<重点施策>福祉教育の推進

■小中高等学校やふれあい・いきいきサロンからの依頼に応じて、福祉に対する関心を高めるための出前講座を実施しました。また、小中高等学校にチラシを配布し、事業の周知を図りました。

(出前講座開催実績)

- | | |
|-----------------|--------------------------------------|
| ・ 高齢者疑似体験・車いす体験 | 大江小学校、清水小学校、桜舞館小学校、
山川中学校、上長田健康教室 |
| ・ 社会福祉協議会について | 西竹飯サロン |

② 市民福祉講座の開催

豪雨災害被災地支援のため、中止しました。

③ 障がい児者ふれあい交流会

障がい者を取り巻く環境の変化等を鑑み、交流会は役目を果たしたものとし、令和5年度をもって事業を終了しました。

④ 小中高等学校福祉活動支援事業

県内で実際に起こった出来事を題材に、小学3年生から6年生までの児童を対象とした福祉教育教材「ともに生きる」を配布しました。各学校を通じて277冊配布し福祉教育の充実に努めました。

⑤ 黄色帽子贈呈事業

小学校新入学児童244名に対して、交通事故防止のための黄色い帽子を贈呈しました。

⑥ まるごとみやま市民まつり

地域福祉推進のため積極的に活動され、その功績が顕著な方に対し、表彰規程に基づき表彰式を行い、活動を広く伝えました。

⑦ 広報事業

○社協だよりの発行

社会福祉事業の周知と地域福祉への関心を高めるため、社協だよりを発行しました。また、誰もが閲覧できるように、公式ホームページで社協だよりを公開しました。

- | | |
|-------------------|------------------|
| ・ 60号 令和5年4月1日発行 | ・ 61号 令和5年7月1日発行 |
| ・ 62号 令和5年10月1日発行 | ・ 63号 令和6年1月1日発行 |

○公式ホームページの運営 (<http://www.miyama-syakyo.com/>)

(4) 福祉のまちづくりを担う人材づくりを進めます。

① ボランティアセンターの運営

ボランティアセンターでは、ボランティアセンターに登録している団体の相談対応や助成金・講座の紹介を行いました。活動への参加を希望する人には、ボランティア活動や養成講座の紹介を行いました。ボランティアによる支援を希望する人には、活動情報の提供や相談対応、紹介を行いました。

○ボランティア団体登録数

- ・ボランティアセンター登録 43 団体 373 人 (個人 3 人を含む)
- ・(ボランティア連絡協議会加入) 20 団体 169 人 (個人 1 人を含む)

○福祉ボランティア派遣・調整実績

ボランティアセンターでは、依頼に基づきボランティアの派遣・調整を行っています。

具体的には、ふれあい・いきいきサロンの年間計画に基づいた計画派遣や地域行事や福祉施設への派遣依頼、相談対応を行いました。

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
計画派遣(サロン等)	8	10	13	12	12	12	10	12	10	13	9	8	129
実活動数	4	7	9	10	8	13	9	13	10	9	7	6	105
派遣調整 (福祉施設等)	2	2	2	2	2	3	3	10	3	3	5	8	45
相談対応件数	2	1	1	2	2	1	3	4	3	2	2	2	25

○修繕ボランティア活動実績

- ・瀬高地区 障子 0 枚 / 網戸 0 枚 / 襖 2 枚
- ・高田地区 障子 18 枚

○音訳・点訳ボランティアの支援等

視覚障がい者が日常生活を送るうえで必要なコミュニケーション手段の普及を目指し、音訳・点訳ボランティアの支援などを行いました。

② 介護予防ボランティア支援事業 (スマイルポイント) (みやま市受託事業)

高齢者が介護施設や障がい者施設、小学校等で行うボランティア活動に対してポイントを付与し、それを奨励金と交換することで、高齢者の社会参加活動を促進し、介護予防につなげることを目的とした事業です。

- ・スマイルメイト登録者数 22 人
- ・スマイルメイト研修受講者数 2 人
- ・活動実績 17 人 延べ 338 時間

③ ファミリー・サポート・センター事業（みやま市受託事業）

市民ボランティアによって低額で子育てを支援する制度です。子どもの一時預かりや市内の保育施設と自宅などの間の送迎を行います。センターは預かる人（まかせて会員）の養成や登録、その後の講習・交流、預けたい人（おねがい会員）や両方を兼ねる人（どっちも会員）の登録や依頼の受付け、マッチングの業務を行い、サポート活動が安全に行われるよう補助や確認業務を担いました。また、赤い羽根共同募金からの助成でおためし券を発行し、利用拡大に努めました。

- ・料金 1時間 500円・700円（内訳 市補助 300円 / 利用者負担 200円・400円）
- ※ 送迎利用時は、経費として1回につき100円追加

○月別活動件数 （月平均依頼件数 137件/実活動件数 115件）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
依頼件数	140	166	141	119	106	149	164	143	151	139	114	112	1,644
キャンセル	6	19	21	23	23	27	22	17	39	19	24	19	259
実活動件数	134	147	120	96	83	122	142	126	112	120	90	93	1,385

○依頼内容

依頼内容	一時預かり	210件
	保育施設・学校の送迎（預かり無し）	1,102件
	保育施設・学校の送迎（預かり有り）	73件
合計		1,385件

○会員数

- ・まかせて会員 72人 おねがい会員 409人 どっちも会員 22人 計 503人
- ※おためし券利用 82枚

④ 手話奉仕員養成講座（入門・基礎課程）（みやま市受託事業）

- ・入門受講者 11名（うち11名修了）
- ・基礎受講者 6名（うち4名修了）

(5) 福祉サービスの適切な利用体制づくりを進めます。

① 心配ごと相談事業

市民の日常生活上の悩みごとや困りごとの相談窓口として、心配ごと相談事業を行い、助言・指導を行いました。

○瀬高地区(旧みやま消防署) 毎月(第1、2、4月曜日 13時～16時)

相談者数・・・31人 開催日数 35日 相談員 4人

○山川地区(げんきかん) 毎月(第1、3火曜日 13時～16時)

相談者数・・・17人 開催日数 24日 相談員 3人

○高田地区(まいピア高田) 毎月(第1、3水曜日 9時～12時)

相談者数・・・9人 開催日数 24日 相談員 3人

相談内容	多重債務	年金	住宅	家族	結婚	離婚	健康・医療・衛生	精神衛生	人権	財産	事故	児童福祉	教育	障がい者福祉	老人福祉	苦情	その他	計
件数	0	0	5	6	0	0	3	40	0	3	0	0	0	1	0	0	9	67

② 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

低所得者、高齢者、障がい者に対し、経済的自立および就学・就業等生活意欲の助長を図る目的で生活資金の貸付業務を行いました。

また、令和2年3月より新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特別措置である緊急小口資金等の特例貸付の借受人に対して、現在の生活状況を把握するためのアンケート調査を実施。アンケートに基づき、支援の必要な方については面談を実施しました。関係機関とも情報共有を図るため、自立相談支援事務所と定期的な特例貸付フォローアップ会議を開催しました。

○令和5年度実績

- ・相談件数 46件
- ・新規貸付申請数 14件 貸付額 2,096,000円
- 総合支援資金1件（300,000円） / 福祉資金11件（655,000円） / 教育支援資金2件（1,141,000円）

○令和5年度までの累計

- ・貸付総額 81,326,700円（264件）
 - 本則貸付額 5,133,020円（53件）
 - コロナ特例貸付貸付額 76,193,680円（211件）
- ・本則貸付額内訳
 - 総合支援資金 1,285,620円（5件）
 - 福祉資金 990,800円（6件）
 - 教育支援資金 1,205,580円（27件）
 - 緊急小口資金 1,651,020円（15件）
- ・コロナ特例貸付償還残高額内訳
 - 総合支援資金 63,054,720円（89件）
 - 緊急小口資金 13,138,960円（122件）

<重点施策>相談体制の充実

■コロナ特例貸付の償還開始にあたり、生活再建に向けた支援を行うため、貸付申請世帯に対するアンケート調査を実施し、生活状況の確認を行いました。また支援にあたっては、必要に応じて行政や自立相談支援事業所との連携を行いました。

- ・アンケート調査実施 189名 / 回答者 35名 / 回答率 18.5%
- ・相談対応者数 21名

③ 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が不十分なため、自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方や、金銭の管理に困っている方に対し、情報提供や助言、利用料の支払い、生活費の受渡し等の支援を行いました。

本人の意思を尊重しながら、社会資源などを十分に把握し関係機関・団体と連携することにより、地域で安心して生活できるような支援を行っています。また契約後の支援では、利用者に応じた支援が必要とされるため、支援内容の多様化、複雑化に伴う専門性が必要とされています。

- ・契約者数 19人 / 新規相談人数 10人
- ・解約者数 5人（本人管理移行 2人 / 成年後見制度移行 2人 / 施設管理 1人）

④ 生活管理指導員派遣事業（みやま市受託事業）

介護保険の対象にならない、日常生活に何らかの援助が必要なおおむね 65 歳以上の高齢者等に生活管理指導員を派遣し、日常生活に対する指導及び支援を行い、要介護状態への重度化防止に取り組みました。

- ・利用者数 1人 年間提供回数 72回

⑤ 在宅福祉サービス事業

介護認定を受けた要支援及び要介護の利用者に対して居宅介護支援事業、訪問介護事業及び通所介護事業を行い、在宅生活の支援に取り組みました。

<重点施策> 関係団体との連携強化

■独居世帯・高齢者世帯の生活状況を民生委員・児童委員と共有し、必要に応じて連携を図りました。

<重点施策> 権利擁護の推進

■虐待発見時の早期通報体制整備に向け、職員研修及び委員会を開催しました。

（職員研修の開催）

- ・令和 5 年 5 月 1 日 通所介護職員研修会 虐待・身体拘束について
- ・令和 5 年 5 月 24 日 居宅介護職員研修会 虐待防止について
- ・令和 5 年 8 月 9 日 ヘルパー会議研修会 高齢者虐待について
- ・令和 5 年 9 月 21 日 相談支援会議研修会 障がい者虐待（児童虐待）について
- ・令和 6 年 1 月 10 日 ヘルパー会議研修会 高齢者虐待について
- ・令和 6 年 3 月 1 日 居宅介護・通所介護合同研修会 虐待・身体拘束について

（外部研修への参加）

- ・令和 6 年 2 月 24 日 サポートみやま研修会 障がい者虐待について

（委員会の開催）

- ・令和 6 年 3 月 25 日 虐待防止対策検討委員会 指針の準備

○居宅介護支援事業（ケアプラン）

要支援・要介護の認定を受けた方で、介護を必要とする方の心身の状況や意向を踏まえ居宅サービス計画の作成等のマネジメントを行いました。また、利用者及び家族、サービス提供機関等との連絡・調整等連携を図りました。

(単位：人数)

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要支援	21	21	21	23	25	25	25	27	26	27	25	24	290
要介護	71	72	73	74	68	77	72	76	75	74	77	76	876
合計	92	93	94	97	93	102	97	103	101	101	102	100	1,166

・月平均利用者数 97.1人 年間前年比7人増

○訪問介護事業

要支援・要介護の認定を受けた方で介護を必要とする方の心身の状況、利用意向を踏まえたケアプランにより各家庭にヘルパーを派遣し身体介護や生活援助を行いました。

(単位：人数)

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要支援	67	68	67	68	71	75	74	74	73	71	71	69	848
要介護	54	55	57	55	57	53	54	51	53	49	48	47	633
合計	121	123	124	123	128	128	128	125	126	120	119	116	1,481

- ・月平均利用者数 123.41人 年間前年比 92人増
- ・提供回数 12,454回 (月平均 1037.8回 年間前年比 516回減)
- ・提供時間 11,820時間 (月平均 985時間 年間前年比 515時間増)

○通所介護事業

要支援・要介護の認定を受けた方で介護を必要とする方を通所介護事業所へ送迎し、心身の状況、利用意向を踏まえたケアプランにより入浴、排泄、食事等の介護やレクリエーション等の支援を行いました。

(単位：人数)

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要支援	7	7	9	9	10	9	9	9	12	12	11	11	115
要介護	23	22	19	18	17	17	19	19	19	19	18	18	228
合計	30	29	28	27	27	26	28	28	31	31	29	29	343
提供回数	324	346	307	299	287	315	310	311	301	291	289	267	3,647

- ・月平均利用者数 28人 年間前年比 1.5人減
- ・提供回数 3,647回 (月平均 303回 年間前年比 5回増)
- ・提供時間 9時30分～15時45分 / 9時15分～16時30分
- ・(保険外通所介護 月平均利用者数 2人 提供回数 121回)

⑥ 障がい福祉サービス

○居宅介護事業、重度訪問介護事業

障がい者（児）を対象に、日常生活の営みに支障のある家庭にヘルパーを派遣し、家事・介護等の援助を行うことにより、生活の安定に資するための支援を行いました。

(単位：人数)

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
居宅介護利用者	26	27	30	31	31	31	31	29	30	28	33	34	361
重度訪問介護者利用者	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
利用者合計	28	29	32	33	33	33	33	31	32	30	35	36	385

- ・月平均利用者数 32.0人 年間前年比 71人増
- ・提供回数 4,273回 (月平均356回 年間前年比409回減)
- ・提供時間 5,150時間 (月平均429時間 年間前年比130時間減)

○地域生活支援事業（移動支援）

(単位：人数)

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	1	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1	1	8
提供回数	14	14	12	0	0	0	14	0	14	8	11	12	99

- ・月平均利用者数 0.66人 年間前年比 1人減
- ・提供回数 99回 (月平均8.25回 年間前年比29回減)
- ・提供時間 99時間 (月平均8.25時間 年間前年比29時間減)

○計画相談支援・障がい児相談支援

障がい者（児）の利用者及びご家族に対して、障がい福祉サービスを利用するためサービス等利用計画の作成及びモニタリングを実施し、相談支援を行いました。また、各種関係機関と連絡・調整等連携を図りました。

(単位：人数)

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
計画相談支援利用者	19	16	11	10	14	11	11	18	13	9	13	14	159
障がい児相談支援利用者	15	14	7	7	13	7	4	7	3	3	10	10	100
利用者合計	34	30	18	17	27	18	15	25	16	12	23	24	259

3. 市からの受託事業

社会福祉協議会の持つ公共性により、みやま市より様々な公共事業を受託しています。令和5年度は以下の事業を受託し、効率的かつ住民の福祉を重視した運営に努めました。事業内容については前述の通りです。

- (1) ふれあい・いきいきサロン支援事業
- (2) 介護予防普及啓発事業
- (3) 介護予防事業（生きがい教室）
- (4) つどいの広場事業
- (5) 総合保健福祉センター管理運営事業
- (6) 介護予防ボランティア支援事業（スマイルポイント）
- (7) ファミリー・サポート・センター事業
- (8) 手話奉仕員養成講座（入門・基礎課程）事業
- (9) 生活管理指導員派遣事業

4. その他の事業

- (1) 日本赤十字社事業

住民の皆様からのご協力により、4,186,030円（8,164件）の活動資金のご協力がありました。また活動資金は、災害救護訓練や救援物資の備蓄報告等を行いました。

- ・赤十字活動資金に係る活動資金募集の依頼（令和5年5月1日～6月30日）

- (2) 献血事業

血液の安定確保のため関係機関等へチラシ、ポスター、防災無線等で広域的に献血を呼びかけました。地域・職域・学校・街頭等での献血会を12回、献血車11台を配車し参加者622人のうち、568人の方より献血の協力がありました。

- ・みやま市献血推進協議会の開催 令和5年7月11日